

一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では、21人が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要で、質問者本人が執筆しております。

なお、各ページに掲載しているQRコードから、各議員の一般質問の録画配信映像をご覧ください。



ここが
ききたい

高齢者の健康維持

Q ポストコロナのフレイル対策を問う

A TODA元気体操の再開を継続的に支援



議員 コロナ禍の収束を見据えながら、高齢者のフレイル対策についてどのように考えているか。

健康福祉部長 感染状況が落ち着いた後のTODA元気体操の教室再開を後押しするため、再開の手引を各教室に配布した。今後も市職員立ち合いの下、運営手法の助言などの継続的な支援を進める。

議員 フレイル対策を展開していくため、各町会・自治会へ市職員を派遣できないか。

健康福祉部長 現在、TODA元気体操の再開に向け相談があった際に運営の支援を行っている。活動を控えている教室に対しても、市職員が現場に赴き、再開につなげていくよう支援を進めていく。

議員 町会などの会館を利用していくべきではないか。



やまざきまさとし
山崎雅俊 議員



健康福祉部長 すでに高齢者サロンやサークル活動などで会館を利用しフレイル対策を実施している。

議員 全市的に進めていくため、「(仮称)戸田市フレイル対策センター」を設置する考えはないか。

健康福祉部長 今後、市と地域包括支援センターが中心となり、地域の関係機関とも連携を図りつつ柔軟に支援していきたい。

◀TODA元気体操など、介護予防事業が再開されてきています

議員のしごと
コロナ禍で失った健康を早く取り戻したいですね

一般質問

一般質問

新型コロナ対策

Q ワクチン接種対策の現状は

A 「予約おたすけ窓口」などを実施している



たくや
そごう拓也 議員

議員 本市はワクチン接種へのさまざまな対策を行っている。インターネット予約、コールセンター、「予約おたすけ窓口」、「コロナワクチンもつたないバンク」などの現状は。

健康福祉部長 インターネット予約可能な会場数は2会場から12会場へ、コールセンターは4席から10席へ増設した。「予約おたすけ窓口」は市内16施設で開設し、5月27日時点で1027人が利用した。「コロナワクチンもつたないバンク」は6月7日時点で328人が登録し、利用実績は42件。ワクチンの廃棄を防止し、早期接種にもつながりよかったとの声も頂いている。

議員 ①今後のワクチン接種会場の設置は②国や県のワクチン接種

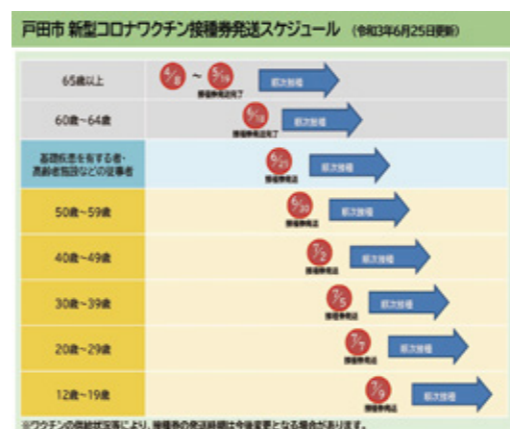
議員 子供の通常のワクチン接種は国の補助で行われているが、小児がん治療で免疫を失った子供へのワクチン再接種は、全額自己負担である。それまで膨大な治療費がかかっていることを考えると、ワクチン再接種への金銭的な支援をすべき。公費助成について伺う。

健康福祉部長 厚生労働省が定期予防接種化を含めた議論を進めている。全国的にも再接種への公費助成が進んでおり、埼玉県でも市町村への補助制度を検討している。市としても、主治医の意見に基づき実施する再接種の必要性は十分感じており、助成制度について早い段階での導入を検討していく。

議員 国や県単位での助成を待つだけでは、実際の制度導入までかなりの時間がかかるであろうこと

センターとの重複予約への対応は③高齢者の接種率向上に向けた取り組みは。

健康福祉部長 ①スポーツセンターでの大規模な接種を予定している②予約情報と接種記録情報の突合を行い対応している③勸奨通知を実施しているほか、接種声掛けキャンペーンにて、関係する137団体による声掛けを実施している。



▲本市のワクチン接種券発送スケジュール

小児がん助成制度

Q 小児がんへのワクチン再接種の助成を

A 早い段階での助成制度導入を検討



を考えると、本市においても早い段階で、小児がんで免疫を失った子供たちへのワクチン再接種の費用助成制度を導入すべきである。

その他の質問

Q 不登校児童生徒と保護者への支援は。

A 教育支援センター「すてっぷ」などで、さまざまな支援を行っている。



▲教育支援センター「すてっぷ」がある教育センター



みやうち
宮内そうこ 議員

議員のしごと
小児がんの子供への経済的な負担軽減を求む